



附属大塚 学校だより

令和5年度 第1号 2023年4月14日発行

○ご入学おめでとうございます

一雨ごとに暖かさを増し、やがて春の盛りとなりました。令和5年度入学式を迎えられましたことを心より喜んでいきます。

新入生のみなさん ご入学おめでとうございます。今年度は、全校で19名の新入生を迎えました。教職員一同 みなさんのご入学を心より歓迎いたします。

この大塚特別支援学校は1960年の4月1日に開校し、62年になります。さらに、その前身をさかのぼれば東京高等師範学校附属小学校に明治41年に開設された第3部補助学級に始まります。そこから数えると大塚特別支援学校の歴史は114年を数えることとなります。このように歴史ある学校でみなさんは学ぶこととなりました。

この大塚には良いところがたくさんあります。特に、生徒のみんなが熱心にまなび、なにより明るく元気なところです。先生方は優しく、生徒のみなさんが本当によく分かる授業を毎日工夫してくれています。この学校でたくさんのごことを学んでください。

さて、新型コロナウイルス感染防止の生活が3年以上も続くとは考えてもみませんでした。お仕事や生活が激変してしまった方々が多くいます。そうした中、みなさんは本日入学式を迎えることができました。あたり前のことがあたり前にできることに感謝しつつ、今なすべきことをしっかりとやってください。

新入生の保護者の皆様、関係機関の皆様、本日無事、入学式を迎えられましたこと、お慶び申し上げます。

これまでのお子さんと歩んだ歴史の中、熱い思いと温かい愛情で日々育てられてきたことと存じます。その大切なお子さんをお預かりする責務を教職員一同心に刻み、心身共に精一杯成長を促していきたいと思えます。大塚特別支援学校の仲間となった皆さん、将来の自分を見つめつつ、頑張ってください。

保護者の皆様におかれましては、学校生活や卒業後の進路に向けての期待や不安をお持ちのことと思えます。不安なことはどうぞいつでも教職員を頼ってください。保護者と学校はパートナーです。子どもたちの将来に向かって一緒に力を合わせて進んでいきましょう。

お祝いのご挨拶とさせていただきます。



令和5年4月7日

国立大学法人筑波大学 附属大塚特別支援学校

校長 川間 健之介

○令和5年度が始まりました

4月6日の始業式、進級した幼児児童生徒が体育館に集まり今年度がスタートしました。7日は各部ごとに入学式を行いました。御進級・御入学を心からお喜び申し上げます。令和5年度は19名の新入生を迎えて、本校在籍幼児児童生徒は69名となりました。また5月までに13名の先生方が赴任します。

学校では、基本的な感染症対策を継続しつつも、学校生活を見直し、子供たちの学習活動がより充実したものになるよう取り組んでいるところです。安全で安心して学習・生活できる環境の整備を、引き続き行って参ります。文部科学省の研究開発学校の指定は2年目となり、今年は生活科・社会科・理科の実践研究をより深めて発信して参ります。14日の学校経営説明会では、これらを含めた今年度の学校経営方針や重点目標をお伝えさせていただきますので、会の資料と説明をあわせてご確認くださいませようをお願いいたします。

多くの異動のあった新年度、NEW大塚も教職員一丸となって取り組んで参ります。保護者の皆様には、令和5年度も変わらずお力添えを賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

※web版では、2~4ページは掲載いたしません。